

都民の会理念二つの私案

「理念戦略委員会」は理念策定委員会（委員長：河登一郎）として新たに会の理念を検討・策定することになりましたが、二人の会員からの「理念私案」を入手しましたので掲載します。

平成維新を実現する都民の会の 2050 年へ向けての理念（私案）

杉原健児

1. 自由競争経済の徹底

生活者やその環境への危害を防止するための規制を除き、経済活動での自由競争を

阻害する規制を撤廃すると共に、事業者の自己責任原則を徹底した社会を実現する。

特に、自己責任償いを明確にするための司法執行の充実・迅速化を図る。これにより

物価の低廉化と新規事業展開が図られ、豊かな生活と豊富な雇用が得られる。

2. 地域自主自立運営の確立

日本を、1000 万人でいどの地域に分け、各地域が自主自立運営する。財政・産業・

雇用・教育・農業・自然・交通・治安・福祉などを各地域で企画・立案・運用する。

地域内の情報公開と民主主義の徹底を図られ、民意に沿った地域運営が実現する。

これにより、自助努力と自己責任で、地域の自主自立的發展が図られる。

3. 国際社会と共存共栄する国の実現

国際社会と共存共栄するための国の施策を、重要度・緊急度に応じて適切に決定・

実行する国を実現する。国の施策を決定するに当たっては、合理的な合意形成システムにのっとり行う。また、国際教育の充実や真の国際人の活躍の場を広げる。

これにより、日本と国際社会との共存共栄が図られ、国際的武力脅威も減少する。

「みんなで良い国を創りましょう」

提案：OK 牧人

[前文]

今、日本の国は再び非常に怖ろしい危険な道を歩んでいます。

1) 行政主導の無責任政治で膨大な借金を抱え込み、国の経済は破産寸前です。

2) 沢山の規制で、国民は世界一高い物価にさらされています。

3) 産業の空洞化が進行し、雇用機会は減少の危機に瀕しています。

4) 高齢化社会を迎えて、農業は働き手がなく、今若い方々の年金も保証できなくなってきました。

永年お上の恩恵に期待し、忍従してきた日本の伝統文化は、この前の敗戦で破綻してしまいました。それにも拘わらず、国民の政治的無関心は、再び国を、そして庶民の生活を破滅に導こうとしています。現在の政治のあやまちは、間違いなく私たち国民一人一人の生命と財産につけが廻ってきます。

私たちは今こそ立ち上がり、明るい希望の持てる未来社会を、一人一人の責任で創造しなければなりません。

「平成維新」によって、私たちは次のような社会を目指しています。

[1] 民主主義の徹底

私たちは、官僚や政治家にすべて委せきりの無責任なサイレント・マジョリティから脱却し、理想を掲げ、政策を論じ、自らの意志で代表を選ぶ、責任ある生活者となりましょう。

[2] 生活者優先の社会

私たちは、生活の質を向上させるため、規制緩和や保護主義から解放主義への転換など、行政の大改革を行って物価を下げ、自由な競争と自己責任の原則に貫かれた、公正で活力に満ちた、生活者優先の社会を実現しましょう。

[3] 地方主権

私たちは、政界・官界・業界に蔓延する歪んだ利益構造の温床となった中央集権システムを解体し、憲法にも明記された、自立した地方が主体的に運営される、真の地方自治を実現しましょう。

[4] 世界との共生

私たちは、個人を尊び、家庭を重んじ、コミュニティにおける責任を自覚し、日本の国を愛し、世界の一員として尊敬と信頼を得られるよう積極的に行動する真の国際人となりましょう。

=====
P.S. 最近 K.V. ウォルフレンの「日本／権力構造の謎」を読み直してみました。あらためて、日本の政治文化に対する鋭い分析に感心しました。その影響を受けて多少文章が過激になりましたが、日本の伝統文化そのものが平成維新の最大の障害になるのではないかと感じると共に、その克服は容易ではないと思いました。しかし背に腹は変えられないとも思っています。重要と思われることは他にもいろいろありますが、意識的に 4 項目以内に限りこととしました。尚平成維新憲章の字句をかなり流用させていただきました。